

令和7年（2025年）9月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和7年9月12日（金）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	比嘉啓登 (なは自民・無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 GW2050 PROJECTSについて 2 市内事業者のDX化支援策について 3 国際化教育について 4 那覇港・那覇空港の物流政策、観光クルーズ船受入政策について	GW2050 PROJECTS推進の立場から、自立型経済の確立に向け、「県内資本の出資比率のルールづくり」や、「サプライチェーン強化のための県内比率設定」、「雇用強化のための現地マネジメント・従業員採用」などを議会提案してきた。本年度は成長戦略の各地域への落とし込みを行うと聞いているが、進捗を問う 以前より議会提案し現在実施されている那覇市産業DX促進支援事業の取組状況と課題を問う 世界で活躍する次世代の育成に向けて、英語教育の強化を進める必要がある。これまで学校教育における英語教育の強化や、地域での語学学習機会の拡充などを議会にて取り扱ってきたが、那覇市における現状と課題を問う 那覇市の国際化に向けて、玄関口である那覇港・那覇空港の利用拡大は急務である。那覇港・那覇空港の物流政策、観光クルーズ船受入政策の現状と課題を問う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 入園前の健康診断書を本市が廃止することについて</p> <p>6 新都心公園・漫湖公園の官民連携の再整備について</p> <p>7 図書館の利用促進について</p> <p>8 学校体育館・プールの利用拡大について</p>	<p>昨年10月に本市から市内各就学前教育保育施設長に対し、市内保育所の入園前の健康診断書の提出を取りやめるとの方針が一方的に示された。保育当事者である保護者、各施設長、保育士からは、子供たちの保育環境の安全性が著しく損なわれるおそれがあるとの不安の声が広がっていた それに対して、議会から本市に対して園長会との連携を促し、8月には保護者・保育士向けアンケートを実施することになっていたが、現在の検討状況を問う</p> <p>これまで新都心公園・漫湖公園の官民連携事業の推進を議会提案し、2023年7月に条例が制定、その後、新都心公園等の指定管理者や、それぞれの公園のPark-PFIの設置等予定者が決定している。官民連携事業により、9月には漫湖公園内にはスターバックスが設置され、今後は新都心公園内にはコナズ珈琲が整備予定であるが、官民連携により得られた市民福祉の効果と今後の取組状況を改めて問う</p> <p>若者・シニアにかかわりなく、市民福祉の向上に向け、利用しやすい図書館整備は重要である 本市が運営している図書館の利用状況の推移と利用促進に向けた今後の方針を問う</p> <p>若者・シニアにかかわりなく、市民福祉の向上に向け、市内小学校区に必ず設置されている小中学校のファシリティマネジメントを進めていくことは重要である 本市内の学校体育館、運動場、プールなどの利用について、地域に開かれた利用拡大の実例や、今後の方針を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>9 福祉バス「ふくちゃん号」について</p> <p>10 モノレール各駅の駅前再開発について</p>	<p>福祉バスふくちゃん号の路線について、おもろまち、上之屋、天久、泊、安謝、銘苅、安里、前島などの地域については路線がなく、当該地域住民で60歳以上の方などの移動困難者の移動に大きな影響が生じているとの市民意見がある これまでの定例会にて新路線の早急な検討を提案したが、当局の取組状況を問う</p> <p>沖縄都市モノレールの各駅について、駅前としての賑わいがまだまだ十分ではないとの市民意見がある。確かに、県外・海外の駅前のような商店街の形成や、賑わいある駅前の整備とは言えない現状もある。本市の取組方針を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	野原 嘉孝 (公明党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	<p>1 最低賃金の 上昇について</p> <p>2 振興計画等 について</p> <p>3 福祉行政に ついて</p> <p>4 市所有地の 活用計画につ いて</p> <p>5 まちなみ共 創について</p> <p>6 平和学習に ついて</p>	<p>厚生労働省は9月5日に最低賃金が全都道府 県で1,000円を超えたことを発表した。全国平均 は時給1,121円で、沖縄県は1,023円となる。政 府は2030年までに1,500円を目標としており「最 低賃金の引き上げに対応する中小企業、小規模事 業者を強力に後押ししていく」方針を示してい る。本市の見解と対応を伺う</p> <p>沖縄振興計画の中間見直しとGW2050 P R O J E C T Sに「平和振興」の基本的な方針を盛り込 む必要があると考えているが、本市の見解を伺う</p> <p>障がいや病気が理由で一般企業で働くことが 困難な方に対して自立した生活に向けたトレー ニング・支援を提供する場となる就労継続支援事 業は、生きがいや社会参加の意識向上にもつな がる大事な取組である。その事業概要と本市の現 状を伺う</p> <p>古島的那覇市障がい者福祉センターが新真和 志複合施設に移る予定と聞いているが、移転後の 跡地活用について伺う</p> <p>新都心公園に架かるおもろ天空橋のアーチの 塗装剥離が目立っている。補修塗装の際には、虹 色にして欲しいとの要望を地域の方からいただ いたが、その可能性について伺う</p> <p>新都心銘苅に長崎の「被爆クスノキ2世」が植 樹されて21年となる。この経緯と平和学習への 活用について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>和田 圭子 (無所属)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 LGBT理解増進法に関する見解について</p> <p>2 LGBT理解増進法の子供達に及ぼす影響について</p>	<p>令和5年に施行された「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」(以下、LGBT理解増進法)について、施行に至る経緯として、自民党の部会で過半数の議員が反対したにもかかわらず、この法案に関しては部会長一任となり、国会での審議に上がり、党議拘束がかけられたことにより拙速に制定された事実を踏まえ、この法律に関する市長、教育長の簡潔な見解を伺う</p> <p>LGBTにかかわらずどのような差別もあってはならないという考えに基づき、拙速に制定されたこの法律が、未成年の子供達に及ぼす影響について心配があるため、以下伺う</p> <p>(1) この法律の第6条第2項では、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する当該学校の児童等の理解の増進に自ら努める」とあるが、現在、那覇市において、学校授業でLGBT教育が実施されている小学校、中学校は、何割あるのか伺う</p> <p>(2) 年間の実施時間及び実施内容はどのようなものを伺う</p> <p>(3) 外部講師に委託している場合は、その内容及び団体名も伺う</p> <p>(4) 2年後に制定予定の那覇市の多様性を尊重する条例(案)の骨子の項目第10条に、施策の実施とあるが、こども園、小学校、中学校における具体的な施策の内容案を伺う</p> <p>(5) 那覇市内の小学校・中学校において、現在トランスジェンダーの児童生徒を学校で把握している人数及び過去に把握した人数のデータがある場合は、推移も伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 中学校での生徒への性教育について	<p>今回質疑をするにあたり、沖縄県内の小学校・中学校・高等学校の現場の先生方に聞き取り調査を行ったが、那覇市内の中学校の先生から、以前次のような内容の性教育授業が行われたと伺った。その授業は、外部講師を活用して中学3年生を男女別に分けた、男性の生徒の方の授業では、望まない妊娠を防止する性教育と言う内容が含まれ、コンドームをつけなさい。避妊をしなさい。マスターベーションの仕方、女性器の模型を使っの授業だったと伺った</p> <p>このような内容の性教育が行われている事実を、把握しているかを伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>屋良 栄作 (なは自民・無所属の会)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 那覇ハーリー の会場変更 問題について</p> <p>2 自衛隊のま つりへの参加 について</p> <p>3 港町の駐車 場不足問題に ついて</p> <p>4 マグロ船の 人出不足につ いて</p> <p>5 犯罪被害者 支援条例につ いて</p> <p>6 不登校児 童・生徒への 学習支援につ いて</p>	<p>那覇ハーリーの会場変更の見通しはどうか伺う</p> <p>沖縄市で開催される沖縄全島エイサーまつり（9月12日～14日）に、自衛隊が参加することに対し、出演中止を求める要請が市民団体から主催者に出され物議をかもしている。一方で、本市で開催される那覇ハーリー（5月3日～5日）では、自衛隊のみならず米軍関係者も競技に参加し、毎年大いに盛り上がっている。自衛隊のまつりへの参加について見解を伺う</p> <p>公共交通が不便なことに加えて駐車場が少ないことから、那覇市港町で事業を営む皆さんが苦慮している現状がある。本市として協力できることがあれば是非実行していただきたいが見解を伺う</p> <p>マグロ船の人手不足で出漁できないマグロ船があることを確認している。なはまぐろの産地である本市として協力できることがあれば急ぎ実行していただきたいが見解を伺う</p> <p>本市としても犯罪被害者支援条例を制定すべきと考えるが見解を伺う</p> <p>現状と課題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>7 不当な同調圧力に負けない子どもを育てることについて</p> <p>8 物価高対策について</p> <p>9 新型コロナワクチンについて</p>	<p>ファシズムやコミュニズムといった全体主義の惨禍を味わわないように、不当な同調圧力などに負けない子どもを育てる教育を行ってほしい。見解を伺う</p> <p>物価高対策として、県外から沖縄に入る農林水産物の移入への補助金を沖縄振興予算に入れ込むべきであると考えます。市民益の観点から市長をして市長会を動かし、県知事に働きかけるべきではないかと考えるが見解を伺う</p> <p>(1) 当初喧伝されていた感染予防効果はなく、若者においては重症予防効果もなかったと尾身茂新型コロナウイルス感染症対策分科会元会長がテレビ番組で発言している。見解を伺う</p> <p>(2) 来年の2月で国内最初の接種から5年になる。予防接種健康被害救済制度での申請を出す上でどのような障害が考えられるか伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>金城 亮太 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 産後ケアについて</p> <p>2 RSウイルスワクチン接種費用助成について</p> <p>3 ひとり親支援について</p> <p>4 介護・障がい者福祉行政について</p> <p>5 高齢者支援について</p>	<p>本市では、これまで議会質問や要請を踏まえ、産後ケア事業の委託先施設を拡充し、令和7年6月には11施設となった。現状と評価、今後の取組について伺う</p> <p>国において定期接種化に向けた議論が進む中で、一部自治体では独自に費用助成を実施している。本市としても、助成の意義や必要性を改めて確認し、導入の検討を求めたい。国の議論の現状と本市の認識、助成制度導入の検討状況について伺う</p> <p>就学援助制度の所得基準において、わずかに上回る、あるいは祖父母と同居しているが別世帯であるなど、実態として支援が必要にもかかわらず対象外となる事例がある。制度の柔軟な運用・見直しを求めるが見解を問う</p> <p>おむつ等の支援について以下問う</p> <p>(1) 介護度4または5を対象とした「介護用品支給事業」は、支援を必要とする実態に必ずしも即していない。給付対象とする介護度等の基準の見直しが必要と考えるが見解を問う</p> <p>(2) 身体障がい者等を対象とした「日常生活用具給付事業」についても、物価高騰の影響で家計の負担が増している。支援の拡充を検討すべきである。物価高騰に伴う給付額見直しについての見解を問う</p> <p>(1) 壺川市営住宅において、Wi-Fiセンサーを活用した高齢者見守りの実証が行われており、安全安心な暮らしの確保に資する取組である。実証の成果を踏まえ、さらなる拡充を推進すべきである。実証の概要と今後の取組について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(2) 高齢者の孤立防止や介護予防の観点から、居場所づくりを行う担い手は重要な協働のパートナーである。活動継続に課題があるため、本市として支援をしていくべきと考えるが、見解を問う</p>
		6 道路反射鏡カーブミラーについて	危険箇所であっても基準外とされ設置できないケースがある。地域の実情に即した柔軟な基準運用や見直しが必要であると考え。現在の基準や課題を問う
		7 公民館等の利用について	公民館などの生涯学習・市民活動の場所は、月謝を徴収するようなレッスンやお稽古には利用できないと承知している。その理由や現行の利用方針について、市の見解を伺う
		8 小学校等に寄贈された楽器の活用について	クラブ活動の休止や縮小により使用されず、保管されたままになっている事例がある。これらの楽器は適切なメンテナンスを行わなければ劣化が進み、文化資源としての価値を失う恐れがある。現状について、市はどのように把握しているか伺う
			<p>【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>下地 ななえ (なは自民・無所属の会)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 公園行政について</p> <p>2 体育館の空調設備について</p> <p>3 市役所のトイレについて</p> <p>4 防犯協会について</p>	<p>公園にドッグランを設置して欲しいという要望があり以前にも他の議員から質問があるが、ドッグランについて以下伺う</p> <p>(1) 那覇市で登録されている犬の頭数及び市民から市役所に設置の要望はあるか伺う</p> <p>(2) 設置にかかる概算予算、ランニングコスト、ドッグランを設置している他の市町村での事例から考えられる懸念事項を伺う</p> <p>那覇市の体育館の空調設備設置の現状について、以下伺う</p> <p>(1) 体育館の空調設備について設置予定はあるか、あるとすれば今後どこにどのようなものを設置する予定なのか伺う</p> <p>(2) 体育館の空調設備は、児童生徒の学習環境向上や熱中症対策のためのものなのか、災害時に避難所として命を守るための防災対策なのか伺う</p> <p>避難所にもなっている那覇市役所であるため、トイレの安全は確保したいと考える。感染症対策として、便座のシートクリーナーの設置について伺う</p> <p>令和6年度は、那覇市からも156万2,846円の補助金を出している那覇地区の防犯協会について伺う</p> <p>(1) 那覇地区防犯協会の概要、また私が聞いた話によると業務が煩雑で処遇が低く後継者不足という課題についての見解を伺う</p> <p>(2) 防犯協会で扱う自転車の防犯登録や抹消手続きについて、件数及びその職務を担当している職員の人数を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		5 火葬場について	<p>(3) 今後那覇市が取り組んでいく防犯施策及び防犯協会へのサポートについての見解を伺う</p> <p>(1) いなんせ斎苑の火葬待ちの現状について伺う</p> <p>(2) 今後、エンバーミングへの補助金についての検討や、エンバーマー育成について検討すべきと考えるが、見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>瑞慶覧りか (無所属)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 平和教育について</p> <p>2 文化観光政策について</p> <p>3 ごみ収集委託事業における賃金水準と委託料の適正性について</p>	<p>平和教育は、戦争や歴史の知識を学ぶだけでなく、命や人権の尊重、社会参画の力、そして平和を自ら守る態度を育む教育でなければならない。広島市のように発達段階に応じた学習プログラムの整備が必要であるが、現状のカリキュラムでは小・中・高を一貫してつなぐ体系的な授業構成が十分とは言えないのではないかと見解を伺う</p> <p>現状の平和教育の取組と課題について、市の見解を伺う</p> <p>(1) 来年秋以降、中城御殿跡地整備事業における御内原エリアに、那覇市所有の国宝が展示・収蔵され、那覇市が管理運営を行うことになっている 開館の目玉記念事業として、外務省が所蔵している琉米条約等の「琉球国三条約」原本を展示する特別展の開催を提案するが、市長の見解を伺う</p> <p>(2) 識名園や玉陵など「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に含まれる施設や、壺屋焼物博物館では、いまだにキャッシュレス決済に対応していない。観光客の利便性やインバウンド需要に応えるためにも、その導入は急務である 今後の整備状況について伺う</p> <p>(3) 玉陵のバリアフリートイレは、「1分以上押し続けなければ水が流れない」といった不具合があり、利用者に大きな負担をかけており、早期に修繕すべきであるが、見解を伺う</p> <p>(1) 那覇市のごみ収集業務は委託事業者によって担われているが、その従業員の賃金水準が市職員と比べて大きく乖離していないかと見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 学校施設における空調設備の維持管理について	<p>(2) 那覇市では猛暑の中での作業に加え、ステップ乗車が禁止されたことから、一人当たり一日10キロ以上を走る過酷な労働環境となっており、こうした実態を十分に加味した賃金水準及び委託料となっているのか、市の見解を伺う</p> <p>小中学校に設置されている空調設備は、児童生徒の健康管理や学習環境の確保のため、定期的な清掃が必要であると考えます。本市における清掃の実施状況と頻度はどうなっているのか。また、快適で衛生的な環境を維持するために、今後どのような改善策を検討しているのか市の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	普久原 あさひ (立憲民主・市民・ニライ) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 環境行政について 2 文化芸術行政について 3 受信料制度と市の対応について 4 子育て及び教育行政について	末吉公園の歴史と自然環境保全の取組を伺う 報道のあったなは一とと舞台制作者との業務トラブルについての経緯を伺う 県内外で公用車のNHK受信料が未払いの事例が報道されている。那覇市における現状及び対応について伺う (1) 放課後児童クラブ(学童保育)について、那覇市の現状と課題及び未実施の事業について伺う (2) 那覇市まなびクーポン事業について高校生も対象とすべきとの要望があるが見解を伺う (3) 那覇市におけるひとり親の状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	<p>我如古 一郎 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 熱中症対策について</p> <p>2 生活保護行政について</p> <p>3 密集住宅市街地対策について</p> <p>4 国保行政について</p>	<p>(1) 救急搬送の状況及び近年と比較した分析。そのうち、クーラー設置世帯でのクーラー稼働状況との関連を問う</p> <p>(2) 渋谷区など自治体で、高齢者などの見守りに「見守り電池」を導入している。効果と見解を問う</p> <p>(1) 最高裁判所は6月27日、生活保護費の減額は違法という初の統一判断を示した。国は過ちを認めて謝罪し、減額前の水準に戻し、原告以外の利用者を含め減額分を遡って支払うべきである。見解を問う。また、2013年以来、食費や光熱費など日常生活に不可欠な生活扶助の基準額を不当に引き下げ、保護受給者の尊厳を踏みにじってきたことに対する見解を問う</p> <p>(2) SNSで拡散されている「外国人が生活保護で優遇」はデマである。その実態と受給資格の要件、デマに対する見解を問う</p> <p>重点改善地区に位置付けた、識名1丁目地区の状況と今後の改善の方向性を問う</p> <p>(1) 国保税の滞納の主な理由と滞納差し押さえが増えている要因を問う</p> <p>(2) 自営業者やフリーランスの生活を守るためにも、国保加入者に傷病手当を支給すべきである。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 介護保険制度について</p> <p>6 道路行政について</p>	<p>(3) 「外国人が医療保険を濫用している」というデマが広がっている。厚生労働省のデータでは、2023年の国民健康保険の被保険者は2,400万人いて、そのうち外国人は97万人。割合としては全体の約4%。その外国人の医療費は、総医療費のうち1.39%である つまり、若くて健康な現役世代の外国人が国民健康保険に入ってくれていることで、むしろ日本人の高齢者の医療費が支えられているのではないか。見解を問う</p> <p>介護保険制度が始まって25年。団塊の世代が後期高齢者になり、2040年には、65歳以上の高齢者は約4千万人とほぼピークに達する。うち介護ニーズの高い85歳以上は1千万人を超えると思われる 介護職不足の主な要因は、低賃金と劣悪な労働環境である。物価高騰に見合う賃金の引き上げなど処遇改善は待ったなしである。見解を問う</p> <p>真地7号のスクールゾーンは、通学時間帯にも多くの車両が行き交い、交通安全対策が求められる状況である 真地7号の急坂を登り切った地点にある横断歩道は、スピードを出した車両が多く危険との声がある。児童・歩行者の安全対策のため、直前の路面に車の減速対策をすべきではないか、見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和7年9月12日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	<p>村上 ゆうじ (れいわ那覇ぬちぐる)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 那覇軍港移設について</p>	<p>(1) 近年の、那覇軍港におけるオスプレイの離発着や、無人艇ALPVの無期限配備は、安全の観点から、那覇市との事前調整が必要だと考えるが、那覇市としてその情報（内容）を共有しているか伺う</p> <p>(2) 今回発表された報告書の環境影響評価（アセス）に米軍運用の影響が除外されているが、浦添移設後のオスプレイ等の離発着についての認識を伺う</p> <p>(3) 那覇市は「現有機能の移転」という前提で国・県・浦添市と共に、移設に向けた議論をしてきた 市総務部長（当時）も、「今後の協議の中で（那覇軍港の使用主目的を『港湾施設および貯油所』と定めた）5・15メモの厳格な運用を強く求めていきたい」との見解を示しているが、改めて那覇市としての見解を伺う</p> <p>(4) 知念市長は就任後、市の立場を「白紙の状態」とし、防衛省側の見解を「自分の耳で聞いてから判断したい」那覇軍港での航空機の離発着が市民生活に与える影響について、日米でどのように調整しているかを確認し、判断材料とする意向を示したが、約3年が経過した現在、どのように判断しているか見解を問う</p> <p>(5) 方法書には今後、市町村長が県知事に意見を伝えるプロセスが明記されているが、何を意見するつもりか伺う</p> <p>(6) 7月の参院選では、那覇軍港の無条件返還を訴えた候補が当選し、玉城デニー県知事も、住民投票が行われた場合はその結果を尊重する考えを示した。住民投票も含め、無条件返還に対する市長の考えを伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 軍拡について</p> <p>3 GW2050 PROJECTSについて</p>	<p>(1) 自衛隊那覇駐屯地に2027年、「対空電子戦部隊」配備のニュースもあった。このまま軍拡を押し進め緊張を煽り、万が一戦争という事態が起こった場合、食料とエネルギーどちらも約9割を輸入に頼る日本は、どうなるか、見解を伺う</p> <p>(2) 知念市長が秘書を務めた翁長雄志前知事が那覇市長時代に中心的な役割を担い、全41市町村長や議会議長らの同意で示された「建白書」は県民の総意だ。12年が経過した沖縄の現状を那覇市は、どう考えるか伺う</p> <p>市民不在で進められるGW構想には、普天間飛行場の早期返還が必須条件であり現実味が無い。30年の不況、コロナ、物価高騰に苦しむ市民の生活を改善するための政策を行うことこそが、行政の役目だと考えるが、見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>